

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年4月21日(2022.4.21)

【公開番号】特開2020-171419(P2020-171419A)

【公開日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2020-043

【出願番号】特願2019-74145(P2019-74145)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年4月9日(2022.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、

所定の演出様式の演出モードを設定可能な演出モード設定手段と、

所定の遊技演出を実行する遊技演出実行手段と、

前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると、遊技者に有利な特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、を備えた遊技機であって、

前記識別情報と、前記演出モード設定手段が設定した演出モードの演出様式と、前記遊技演出実行手段が実行する遊技演出と、を少なくとも表示する第1表示部と、

前記前記遊技演出実行手段が実行する遊技演出を少なくとも表示する第2表示部と、を有し、

前記第1表示部は遊技領域の略中央部に設けられ、前記第2表示部は前記第1表示部の周囲の所定の位置に設けられ、

前記演出モードとして、特別演出モードを有し、

前記特別演出モードは、前記特別遊技終了後に設定されると共に、特定回数の前記識別情報の変動表示を実行することに基づいて終了するものであり、

前記識別情報の変動表示の実行回数を表示する変動回数表示部と、

前記特別演出モードが終了するまでの前記識別情報の変動表示の残り回数を表示する残変動回数表示部と、を有し、

前記残変動回数表示部は、前記第1表示部に表示され、前記変動回数表示部は、前記第2表示部に表示される

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記特別演出モードが、前記特定回数の前記識別情報の変動表示を実行することに基づいて終了して他の演出モードに移行した場合、前記残変動回数表示部は表示を終了し、前記変動回数表示部は他の演出モードに移行した後も前記識別情報の変動表示の実行回数の表示を継続することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記変動回数表示部に表示される回数は、前記特別遊技が終了することに基づいて、初期化されることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の遊技機。

40

50

**【請求項 4】**

前記遊技演出として、特定遊技演出を有し、  
前記特別演出モードにおいて前記特定遊技演出を実行する場合、前記特定遊技演出は、  
前記第1表示部及び前記第2表示部に表示されるものであって、  
前記第1表示部では、前記特定遊技演出を優先表示して前記残変動回数表示部を非表示  
とし、前記第2表示部では、前記変動回数表示部を優先表示して、前記特定遊技演出及び  
前記変動回数表示部を表示することを特徴とする請求項1乃至請求項3の何れか一項に記  
載の遊技機。

**【手続補正2】****【補正対象書類名】明細書**

10

**【補正対象項目名】0007****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0007】**

前述の課題を解決するための第1発明の遊技機は、

所定条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、

所定の演出態様の演出モードを設定可能な演出モード設定手段と、

所定の遊技演出を実行する遊技演出実行手段と、

前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると、遊技者に有利な特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、を備えた遊技機であって、

前記識別情報と、前記演出モード設定手段が設定した演出モードの演出態様と、前記遊技演出実行手段が実行する遊技演出と、を少なくとも表示する第1表示部と、

前記前記遊技演出実行手段が実行する遊技演出を少なくとも表示する第2表示部と、を有し、

前記第1表示部は遊技領域の略中央部に設けられ、前記第2表示部は前記第1表示部の周囲の所定の位置に設けられ、

前記演出モードとして、特別演出モードを有し、

前記特別演出モードは、前記特別遊技終了後に設定されると共に、特定回数の前記識別情報の変動表示を実行することに基づいて終了するものであり、

前記識別情報の変動表示の実行回数を表示する変動回数表示部と、

前記特別演出モードが終了するまでの前記識別情報の変動表示の残り回数を表示する残変動回数表示部と、を有し、

前記残変動回数表示部は、前記第1表示部に表示され、前記変動回数表示部は、前記第2表示部に表示される

ことを特徴とするものである。

**【手続補正3】****【補正対象書類名】明細書**

30

**【補正対象項目名】0008****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0008】**

このような遊技機によれば、識別情報と、演出モード設定手段が設定した演出モードの演出態様と、遊技演出実行手段が実行する遊技演出と、を少なくとも表示する第1表示部と、遊技演出実行手段が実行する遊技演出を少なくとも表示する第2表示部と、を有している。また、特別遊技終了後に設定され、特定回数の識別情報の変動表示に基づいて終了する特別演出モードを有している。また、識別情報の変動表示の実行回数を表示する変動回数表示部と、特別演出モードが終了するまでの識別情報の変動表示の残り回数を表示する残変動回数表示部と、を有し、第1表示部に残変動回数表示部を表示し、第2表示部に変動回数表示部を表示する。これにより、識別情報の変動した回数を認識可能な変動回数表示部と、特別演出モードの残回数と、を別々の表示部で、夫々認識することが可能となる

40

50

。またこれにより、遊技者は、遊技の状況（進行状況）を正確かつ確実に把握することが可能となる。

また、第2発明の遊技機は、第1発明の遊技機において、

前記特別演出モードが、前記特定回数の前記識別情報の変動表示を実行することに基づいて終了して他の演出モードに移行した場合、前記残変動回数表示部は表示を終了し、前記変動回数表示部は他の演出モードに移行した後も前記識別情報の変動表示の実行回数の表示を継続することを特徴とするものである。

また、第3発明の遊技機は、第1発明又は第2発明の遊技機において、

前記変動回数表示部に表示される回数は、前記特別遊技が終了することに基づいて、初期化されることを特徴とするものである。

10

また、第4発明の遊技機は、第1発明乃至第3発明の遊技機において、

前記遊技演出として、特定遊技演出を有し、

前記特別演出モードにおいて前記特定遊技演出を実行する場合、前記特定遊技演出は、前記第1表示部及び前記第2表示部に表示されるものであって、

前記第1表示部では、前記特定遊技演出を優先表示して前記残変動回数表示部を非表示とし、前記第2表示部では、前記変動回数表示部を優先表示して、前記特定遊技演出及び前記変動回数表示部を表示することを特徴とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の遊技機によれば、遊技演出の視認性を極力確保しながら、容易に遊技状況を把握することが可能な遊技機の提供を図ることが可能となる。

30

40

50